

## 平成 31 年度 事業計画

### 1 基本方針

我が国の少子高齢化は急速に進み、高齢者のみの世帯数も増加傾向に歯止めがかからず、一方では若い世代の労働力人口が減少し人手不足の状況が続いています。

国においては人生100年時代を見据え、誰もが活躍できる「一億総活躍社会」の実現に向けて、働き方改革をはじめとする様々な取り組みを進め、全世代型社会保障の基盤強化が進められています。

こうした中、活力ある地域社会を築いていくために、これまで以上に高齢者の活躍の場の創出が必要となっており、地域社会に密着した臨時的かつ短期的・軽易な業務を長年にわたり培ってきた経験や知識技能を活かして社会の担い手として貢献しているシルバー人材センター事業の役割は、一層重要となっています。

このような中、千歳市シルバー人材センター（以下「センター」という。）は公益法人として、多様化する市民ニーズや地域社会状況の変化に的確に対応しながら会員の増強、就業機会の拡大、安全・適正な就業など効果的な事業運営を図ることにより、従来の請負・受託事業やシルバー派遣事業の一層の拡充に努めております。

しかしながら、センターの平成30年度の実績は、企業における65歳までの継続雇用制度の定着や年金制度改正などの影響により会員数が横ばいの状況にあり、事業収入の大きなウエイトを占める草取りや草刈りなど屋外作業会員の確保などの安定的な事業運営を行うためには「会員の拡大」が喫緊の課題となっています。

そのためには、平成31年度は引き続き「会員拡大委員会」を中心として、会員・役職員が一丸となって会員拡大に努めるとともに、行政や商工会議所・各事業主団体等と一層の連携を図り、啓発活動も更に強化し会員の獲得に努めてまいります。

また、就業機会の一翼を担っている労働者派遣事業についても、北海道シルバー人材センター連合会と連携を図るとともに、新規派遣先事業所の開拓に努め、急増する高齢者の受け皿として地域社会の支え手となるようシルバー事業の推進に取り組んでまいります。

加えて、平成30年度を初年度とする中期計画による目標達成を目指し、センターの発展的運営に努めてまいります。

### 2 事業実施計画

基本方針に基づき、平成31年度の個別事業を次のように定め実施してまいります。

#### (1) 就業機会の拡大と会員数の増加に向けた普及啓発について

個々の会員が有する豊富な知識、技術、経験を活かした就業機会の確保、提供とともに、センター事業の理念や仕組みを広く浸透させるため、普及啓発に努めてまいります。

- ① 就業機会創出員を中心として、新たに提案型の就業開拓を進め、既存企業や新規企業への就業機会の拡大及び創出に努めるとともに、新入会員の拡大に努めてまいります。
- ② 個人や家庭からの再受注やお客様の「口コミ」による就業機会の拡大には、つながりを深める中で行うことが大切なことから、チラシを配付するなど、きめ細かな対応に努めてまいります。

- ③ 独自事業については、需要と供給に応じた「腐葉土づくり」事業に取り組んでまいります。また、新たな独自事業の取り組みについては、引き続き調査、研究に努めてまいります。
- ④ センター事業を広く市民の皆さんに紹介するため、「シルバー人材センターのご案内」のリーフレットを配布するほか、地元紙を活用して仕事の受注や正会員及び賛助会員募集のための広告掲載、インターネットによるホームページの活用、コミュニティビジョンの活用、千歳市や報道機関への情報提供など、普及啓発に努めてまいります。
- ⑤ 10月のシルバー人材センター事業普及啓発促進月間に併せてセンターの事務所に看板や幟を掲出するとともに、福祉施設における奉仕活動や大型店においてチラシの配布を実施して普及啓発に努めてまいります。
- ⑥ 市民との触れ合いを大切に、センター事業の浸透を図るため、第29回シルバー展を開催し、パネルや会員・シルバー世代の市民の方々の作品を展示してまいります。

## (2) 財政基盤の安定強化について

- ① 補助金の制度改定に伴い事業仕訳で減額となっていたものが一定程度復元されてきておりますが、働き方の変化等に伴い受注額は伸び悩んでおり、経営環境は引き続き厳しいものがありますので、派遣事業の拡大、行政に対する支援要請、事務費率の適正化及び事務局体制の見直しなど持続可能な財政構造への確立を目指します。
- ② センター事業の趣旨に賛同し、事業に協力援助を惜しまない個人・団体を賛助会員として入会していただくよう会員、役職員が組織を挙げて取り組み、財源の確保に努めてまいります。

## (3) 事故防止と安全就業について

事故防止と安全就業の確保は、シルバー事業の維持、発展を図る上で最重要課題であります。

「安全はすべてに優先する」をスローガンとして、安全就業委員、安全推進員の活動の充実と、その啓発を図るとともに、次の安全就業対策に努めてまいります。

- ① 「安全就業基準」や「安全就業推進計画」の徹底に努めるとともに、安全就業委員、安全就業担当理事を中心としたチームを編成し、安全パトロールを実施し、就業者に助言を行うほか、安全講習会を開催して、安全意識の啓蒙と事故の未然防止に努めてまいります。
- ② 安全旗の掲揚、安全標語の募集、安全就業宣言、交通安全や事故防止に関する情報の提供をとおして、事故の未然防止に努めます。また、万が一の事故に備え、シルバー保険（傷害保険・賠償責任保険）に加入してまいります。
- ③ 就業時や途上における緊急連絡を容易にするため、「ペア就業」の推進に努めるとともに、安全保護具の確保や機械器具の点検整備を図り、事故の未然防止に努めてまいります。

- ④ 疾病の早期発見や未然防止のため、健康診断の受診を奨励するとともに、保健師による健康相談を実施してまいります。

(4) 適正就業について

- ① 会員の就業については、シルバー事業の基本理念にそって長期就業の是正や就業機会の公平な提供に努めるとともに国が示しているガイドラインの周知徹底を図ってまいります。
- ② 会員が就業上の悩みを解決しつつ経験や知識・技能を生かし、希望する仕事などに無理なく就業できるようにするため、就業相談担当理事による就業相談を実施してまいります。

(5) 一般労働者派遣事業について

会員の多様な就業機会を確保し、働き方の選択肢を拡げるとともに、お客様との信頼関係を保ち、適切かつ円滑な事業運営を推進するため、一般労働者派遣事業を推進してまいります。また、国が進める高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の成果指標としても派遣の実績拡大が求められていることから新たな派遣先事業所の開拓に努めてまいります。

(6) ボランティア活動について

シルバー人材センターは、心身ともに健康な高齢者で構成された公益団体で、地域社会に貢献することを目的としています。

このことから、地域社会に対しては、センター事業を広く発信し、親しまれ、活力あるセンターを目指し、一人の会員がひとつのボランティア活動への参加を目標に、取り組んでまいります。

- ① 春と秋には千歳商工会議所との連携のもと中心商店街で、秋には青葉公園での清掃奉仕を行い環境の美化に努めてまいります。
- ② 平成 31 年度の「シルバーの日」に合わせて福祉施設等を訪問し、施設内の清掃、車椅子、ベッド等の点検・補修等の奉仕活動を実施してまいります。
- ③ 千歳市社会福祉協議会や福祉団体等との連携を深め、事業に協力してまいります。

(7) 広報活動について

年 2 回「シルバー千歳」を、毎月「事務局便り」を編集発行して、関係機関、団体及びセンター会員に配布することにより組織及び事業活動についての情報提供に努めてまいります。

(8) 技能講習等の充実について

- ① 地域社会の多様なニーズに応えるため、会員の持つ技能・技術の向上を図るとともに、一般市民をも対象とする講習会を計画し参加を促すよう取り組んでまいります。

② 会員の有する技能・技術の向上を図るため、職群班、就業グループごとの講習会を計画し発注者のニーズに応えるよう努めてまいります。

(9) 女性部活動について

女性部「たんぽぽの会」と連携し、組織活動や事業活動を支援するとともに、組織体制の充実と事業の発展に努めてまいります。

(10) 地域班、職群班の組織機能の強化と活動の充実について

地域班、職群班の組織活動を支援してまいります。また、合同班会議を開催して会員に対する情報の提供と、会員の意向の把握に努めてまいります。

(11) 職業紹介の推進について

雇用を希望するセンター会員などを対象として、公共職業安定所と連携し職業紹介を行ってまいります。

(12) シルバーワークプラザの有効活用について

高齢者が「シルバーワークプラザ」を活動拠点として、有効活用するよう努めてまいります。

(13) 指定管理事業について

千歳市共同利用施設（東雲会館、末広会館）、末広霊園、千歳霊園及び千歳公民館について、利用者に喜んでいただくとともに、経費の削減を図るなど適切かつ円滑な運営に努めてまいります。

(14) 関係機関、団体との連携について

千歳市、北海道、公共職業安定所などの関係機関、全国シルバー人材センター事業協会、北海道シルバー人材センター連合会の関係団体との連携を深め、事業の円滑な運営に努めてまいります。

(15) 平成 31 年度の事業収入について

平成 31 年度の会員数及び受注金額の目標を次のとおりとします。

会員数(名)	受注金額(円)
490	167,012,000

※指定管理料収入に含まれる配分金及び事務費の額の収入を含むものです。

参考 平成 30 年度予算

会員数(名)	受注金額(円)
470	164,363,000